

# 機関紙はあもにい第61号

発行日 年間2回(7月・1月)

編集 社会福祉法人白老宏友会 法人本部

白老郡白老町川沿1丁目553番地1

TEL (0144) 85-3100

HP : <http://www.shiraoi-kouyuukai.jp/>



表題:生活介護事業所みらいえ利用者

## 新たな年に向けて

昨年は30度を超える猛暑日が続き、25度だと涼しいねという言葉が出るほどの厳しい夏でしたが、6月にオープンした「ジエラート工房・ミナビエノ」にとっては、まさに追い風を通り越して熱風のごとく嬉しい悲鳴となったのも事実です。ジエラートアイスを通じ、地域の皆さんと交流が膨らみ、白老宏友会にとつて新たな地域共生の場となったことに感謝、暑い中頑張ってくださいました利用者の方々に感謝、支えてくださった職員に感謝の年でした。

年が明け、令和6年度は白老宏友会が設立し40年になります。昭和59年の白老町は人口が2万4千人と過去最も多い時期でした。現在人口は1万5千人となり、白老宏友会の利用契約者数は当初の入所者30名が現在は延べ240名を超える状態にまで大きくなり、グループホームの待機者は30名を超える状況が続いています。利用者のニーズに耳を傾け歩んできた歳月は、いつの時代もジレンマとの戦いでもあります。そこに皆さんと共に歩んだ個々の人生があります。支援理念である「共に出会ってよかったと思える人生づくり」をこの先も職員の皆さんと目指し、人口減少が進む白老町において、この福祉サービスを持続していく為に私たちができることは何かを問いながら、あきらめることなく利用者の方々と出来る、新たな地域共生、地域創生へ向けて次の50周年の夢を描いていきたいと思えます。

(理事長 北平保)



## おめでとう!



**白老町より吟道のスターが誕生!**  
前号でも紹介いたしました、法人利用者の高橋美雪さん(ポプリ所屬)が「全国優秀吟者吟道大会」の「和歌の部」で初優勝しましたのでお知らせいたします。

5月に札幌市で行われた北海道予選では47人のうち上位3人を選ばれ、9月に埼玉県川口市で開かれた全国大会で34人の中から優勝を勝ち取った。

道予選、全国大会で吟じた「鳴けや鳴け」は、平安時代中期の歌人曾禰好忠(そののよしただ)が自分をキリギリスに例え、秋が終わる悲しさを表現した歌。美雪さんは「他の出場者は自分より段位が上で緊張したが、歌の悲しい気持ちを吟じることが出来たと思う。」と振り返る。

美雪さんが詩吟を始めたのは町内のチャリティイベントにて詩吟を聞いたことで心惹かれたとのこと。それまでも民謡を習うなど歌うことが好きだったが詩吟の「作者の人生を一語一語感じられるところに魅力を感じた」という。

来年の大会の際には優勝杯を返すと同時に前年の優勝者として詩吟を披露する。

美雪さんは「優勝者の名に恥じないよう吟を磨いていきたい」と意気込んでいる。

(北海道新聞より一部引用)

# 生活介護事業所



SNS 開設!

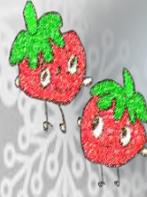


みらいえ Instagram



ミナピエノ Instagram

## みらいえ



Mina pieno のインスタグラムを開設しました!

新商品の紹介や開業日の情報が投稿中!みらいえのインスタグラムと併せてフォローお待ちしております!!

## Gelateria 「Mina Pieno」 好評営業中!

Gelateria 「mina pieno」の開店から4か月が過ぎ、地域の皆様、町外の方々も多数ご利用いただいております!販売や盛り付けなど店内業務にあたる利用者様の方々にも笑顔が見られ、店名の由来である「笑顔 (mina) でいっぱい (pieno)」の明るい雰囲気となっています!利用者様、地域の方々がともに暮らす「地域共生」実現へ、前進の手ごたえを感じているところです。

開業から現在まで、来店される皆様のご要望に応えられるようにジェラートの種類も数を増やしてきました。今後は、新メニューの販売や自動販売機によるカップジェラート販売、地方発送など、さらに多くの方々にご利用いただけるように販売方法の拡充を検討しております。詳しい情報は、「mina pieno」のInstagramにて、随時、お知らせいたします(上記QRコードをご参照ください)。また、予約注文が可能なホームページも開設を目指して準備中です。開設しましたらInstagramや法人のホームページでご紹介予定です。



### ~紅葉見学の様子~

9月終盤、みらいえでは外食を伴う外出行事に出かけました。紅葉見学の予定でしたが、木々はまだ色付いておらず…。それでも、久しぶりの外食に、利用者様はとて満足そうな様子でした。外食後の散策では、皆さんピースサインでカメラに笑顔を見せてくださいました。来年は、そんな笑顔が見られるよう、できるだけ多く外に出かけたいですね!



### ~ハロウィン行事報告~

10月31日に恒例のハロウィン行事を行いました。午前中は、利用者様と一緒にハロウィン風デコレーションのドーナツを作り、午後のレクリエーションでは、仮装をしたりお菓子や景品の入ったくす玉割ゲームをしたりで大盛り上がり!中のお菓子が飛び散るほど白熱し、仮装のユーモアさも重なって、笑いの絶えないひと時となりました(笑)。



担当:根本 佐々木

2023



# ポプリ

## 多機能型事業所



新聞記者より取材を受けているアマダさん

ななかまどはおかげさまで31周年を迎えました。アマダ支援員が母国インドネシアで両親と販売していた伝統的な料理リソレスが感謝祭メニューとして、大きな注目を集め、2日間で約250個を完売しました。北海道新聞に掲載され、達成感や自信に繋がる機会となり、今後の活躍が期待されます。



## ななかまど・清掃部合同就労学習会

ななかまど・清掃部合同の就労学習会を8月末～9月中旬の期間に実施しました。今年度は、札幌、小樽、恵庭、苫小牧の4班に分かれて行き、地元のパン屋さんを巡り、新製品開発におけるアイデアの創出や、他店と比較する中で、当店について振り返る機会としました。改めて良いところや足りないところに気付くキッカケになったと思います。また、接客マナーや商品の陳列等について学び、最後に、地域の特産品を食べ感想を述べ合い有意義な時間を過ごすことが出来ました。今後も活気を持って活動に取り組んでいけるよう就労学習会を企画、立案していきたいと思ひます！

## パン工場・給食部合同就労学習会

パン工場・給食部では、8・9月に学習会を行いました。食品製造において、使用している原料がどのように作られているのかを知るために、3班に分かれて工場見学を行った他、モチベーション向上のためにサーカスを鑑賞してきました。1班は(株)木田製粉工場へ行き、小麦が何処から来てどのように粉砕され製品になるのか一連の工程を見学しました。2、3班はサツラク牛乳の生産工場において、オートメーション化された環境で安心、安全に牛乳が製造されているのを見て学習する様子が窺えました。製品が出来上がる所を実際に見る事で、製品の価値や努力の大切さを感じる事ができました。サーカス鑑賞では、パフォーマンスやアクロバットで芸術的な演技に感激し、思い出に残る充実した学習会になりました。



## 生活介護事業事業～日帰り旅行 9月上旬から11月中旬に、4コースの日帰り旅行を実施しました。



ブウベツの森キャンプ場

自然の中で心地よい風を感じながら、BBQやレクリエーションを楽しみ、笑顔が一日を彩りました。



木下大サーカス

驚きと感動が満載のサーカスショーに、日常を忘れ2人ともパフォーマンスに魅了されていました。



千歳水族館

美しいサケを鑑賞し、ドクターフィッシュの不思議な体験で心もリフレッシュ。笑顔溢れるひと時を共にしました。



新千歳空港グルメツアー

人気ラーメン店やソフトクリームに舌鼓。笑顔で食事を共にし、絆を深めました。

## 初売りセール

令和6年1月5日(金) 11時より初売りセールを開催いたします！10時半からは毎年恒例の餅つき大会の他、先着100名様当たり付き紅白福引き餅を実施します。また、町内のお客様からアイデアを募集した干支パンや人気商品、定番商品を入れたパンの福袋と冷凍餅の福袋を大特価、数量限定で販売いたします！初売りは是非ベーカリーショップななかまどへお立ち寄りください。皆様のお越しを心よりお待ちしております！

## 年末餅製造販売事業について

● 今年度も年末年越し餅の製造販売を行いました。12月初旬よりお歳暮事業として、4種類のなまこ型切り餅を詰め合わせた『幸せ餅』を300個限定で販売いたしました。昨年度より店頭予約に加え、ふるさと納税に参画しており、将来的に製造数を増やしていきたいと考えております。年末年越し餅事業は、地域の皆様に愛されている恒例の事業であり、31年目を迎えました。道産餅米100%に、地元食材や春に白老近郊で採取した天然のよもぎを使用し、無添加でコシの強い昔ながらのお餅です。今年度も12月28日(木)29日(金)2日間 店頭にて販売を行い、白老町をはじめ近隣の市町村や、中には札幌よりお問合せをいただき多くのお客様からご注文を頂きました。日頃より、ご愛顧いただいておりますお客様には感謝しております。今後も皆様に愛されるお店、製品づくりを目指し取り組んで参ります。今年もどうぞ宜しくお願い致します。

● 年末年始のお休みは令和5年12月30日(土)～令和6年1月4日(木)

# 地域生活支援センター あぶろ

やっと日常に…

## 行事やクラブ活動が再開へ！

新型コロナウイルスの規制緩和により、各グループホームでもそれぞれ余暇の充実を図る取り組みを再開しています。近隣のカフェで喫茶、秋の紅葉を鑑賞しにドライブへ出掛けたり、中には屋内ではありますが、自身の特技を磨いたりと多岐にわたりました。今後ますます充実した時間を過ごしていけますようにサポートしていきます。

今年度は青葉会の活動が活発であり、それぞれ的好みに応じたクラブ活動を行っています。具体的には「音楽クラブ」「運動クラブ」「映画クラブ」「温泉クラブ」の4つがあり、入居者さんたちと一緒に企画・運営をしています。この中でも、音楽クラブでは日々の練習の成果を披露する場としてコンサートを企画するなど、とても活発な活動をしています。

この他にも、今年度から詩吟活動が再開されるなど、個人の活動も活発になってきていますので、引き続き、感染対策をしながら、皆様が安全に楽しめる機会を提供していきたいと考えています。



運動クラブによるノルディックウォーキングの様子や温泉クラブによる登別温泉ツアーの様子です！！



9月白老町『蔵』で開催されましたル・リアン コンサートの様子です！！



皆さんの笑顔撮影することができました！！ほんの一部ですがご紹介いたします！！

## 「電気料金の高騰に伴う設備更新について」

世界情勢による燃料費高騰に伴い、電気料金の値上がりについては、皆様の一般家庭においても大きな影響があったと思われまます。特に電気料金に含まれる燃料費調整額の上限が昨年12月に撤廃され、さらには今年4月以降には、電気料金の設定価格の値上げも行われました。

特にあぶろにおいては、オール電化住宅である、「いころ・のんの、れら」「そら、とも、のあ、かい」において、電気床暖房を使用する、昨年の冬期間は多大なる影響があり、これまでにない光熱費の上昇により、利用者の皆様の生活経費が逼迫される状況となりました。この状況を鑑み、前述のホームにおいては、特に平成24年に建設したホームは10年を迎え、設備の老朽化や修理の必要もあり、令和5年度あぶろ事業会計の予算に計上し、夜間電力を使用した電気給湯設備を灯油ボイラーに変更、高電力を使用する床暖設備一部のエアコン化、蛍光灯照明のLED化等による大規模改修を行いました（改修は7棟を対象）。電気料金や灯油価格の今後の推移が不透明であり、また実際の使用状況にもよりますが、これら合わせて予算策定時の試算では、各ホーム年間35万円程度の光熱費削減を見込んでおります。

また合わせて、前述の7棟については、定期的なメンテナンスとしての屋根・外壁の塗装工事を9月上旬から12月下旬を工期として、実施しましたのでご報告いたします。センター長 高井





# ハロウィーン

去年と同じにしようかな？今年は違うの着ようかな？衣装選びでもワクワクしました♪



**今年ももう終わりだなんて!?**  
でも来年もまたワクワクすることが待っているかも。乞うご期待!



みんなで作った「スイートパンプキン」「カラフルマシュマロ」「蜘蛛ドーナツ」「カシススムージー」。バラエティ豊かなお菓子をワクワク。メは『ゾンビダンス』で踊り大盛り上がり。ワクワクが止まりません!



## カシス祭り

カシスソーダやカシスジャムの試食を用意。3日間開催したうち、中日は大雨に見舞われてしまいましたが、町内外からたくさんご参加いただきました。今年逃した方は、来年ぜひいらしてください!



## 社会見学

今年も小グループでの外出を行いました。引き続き新型コロナ感染に気をつけながらの行動でしたが、久しぶりの遠出を満喫いただけようです。

## 収穫祭

沢山採れた枝豆の枝外しを、利用者総出で行いました。いっぱい作業した後は、枝豆入りコロッケや『ミナピエノ』のカシスミルク味のゼラートで収穫を祝いました。



## 白老手打ちそばの会

『白老手打ちそばの会』(代表:宮武様)から、会の社会貢献の一環として、打ち立てそばをいただきました。愛泉園が会の指導初の施設だったそうですよ。



## スノードームづくり

クリスマス仕様の可愛いスノードームを作成。制作後は園内に飾りクリスマス気分を演出してくれています。

## 今後の予定

- 12月: 忘年会
- 1月: 新年会&冬季アイゼンピック
- 2月: 節分&バレンタインデー
- 3月: ひなまつり&ホワイトデー

## 編集後記

今年の夏は気温が上がり、電気代も上がり、ガソリン代も上がりど頭が痛くなるようなことが続きましたが、そんな中でも楽しくて気分が上がることは続いて欲しいですね。毎日笑顔でいたいです!ところで、今年って「秋」ありましたっけ? そういえば、栗拾いしてない!? (寂)

## 函館馬主協会へ感謝を込め

馬主協会様の助成金を受け菓子専用ミキサーを購入する事が出来ました。ななかまどやイレンカで販売している、お土産製品やカップチーズケーキ、チーズスフレ、プリンなどの菓子製品が機械の性能により効率よく量産可能となり、利用者さん職員ともに歓喜の思いでいっぱいです。作業効率が向上した事で新商品の開発や利用者さんが携われる機会を増やし社会自立に向けて邁進して参ります。有難うございました。

【原稿:支援課長 中道康元】



助成金で購入した【菓子用ミキサー】

## 地域貢献事業（共生型事業所はあもにい）

### 「ご近所野菜市」は、皆様の支えと共に11周年を迎えました！

家庭菜園で育てた新鮮な野菜や花を持ち寄り、野菜市を行うこと11年目。開催を待ちわびるお客様からの問い合わせがあり、反響を大変うれしく感じております。令和5年度は猛暑にて野菜が早めに育ちすぎて、9月には出店用の野菜が品薄になり予定していた収穫祭も残念ながら中止となってしまいましたが、是非次年度の「ご近所野菜市」をお楽しみにお待ちしております！



色とりどりの野菜は新鮮ですよ。  
「今晚のおかずは何でしょう？」  
おいしい野菜で料理もレベルアップ！  
(^▽^)

### 白老ふれあい食堂「ウタル」

地域の子どもたちに無償で食事を提供する子ども食堂の活動を通し居場所づくり事業に取り組んでいます。地域の主婦が中心となり2018年から活動している「白老ふれあい食堂実行員会（井原美智子代表）」は当法人の「はあもにい」を拠点に子供たちの成長を支えています。

活動は毎月第2、第4土曜日で、子供は無料大人は300円で提供しています。学習支援にも取り組んでいます。「いつも元気な笑顔に励まされ、これからも子供たちのコミュニティーの場として続けていきたい」と思います。

※支援金及び食材協力店（敬称略）  
苫小牧地方法人白老地区会、白老マザーズ、牛の里、白老きのこファーム、白老町内有志

### 新任職員紹介（採用年月日）

「みらいえ」

\*舩澤香織（生活支援員）R5.6.1

～ご寄付・ご寄贈～浜竹浦町内会様より

ポプリ就労活動に対してご寄付いただきました。

大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



今回のキラリさん！

今回のキラリさんは・・・

さきさきたけお

多機能型事業所「ポプリ」佐々木健夫さんです。

担当職員さんから「キラリ」な一言をいただきました。



今年度は、日胆地方会のパークゴルフ大会に出場され、個人総合優勝獲得。みんなあーと2023では、一般投票にて「かでのチャンピオン」に選ばれました。この作品では、コーヒー豆を用い、絵画に独自の深みと奥行きを表現し、健夫さんの繊細な技術と感性が溢れた作品となりました。今後も、器用な手先を活かして、多方面での活躍が期待されます。

みんなあーと 2023 展示部門

「かでのチャンピオン」

作品名『モナ・コーヒー』

佐々木健夫さん

（多機能型事業所ポプリ）

北海道知的障がい者芸術祭みんなあーと2023にて、119点の作品から、選ばれました。この作品はコーヒー豆の濃淡を生かし、モナリザの表情に合わせて貼り合わせた作品です。名前もコーヒー豆で作ったモナリザという事で「モナ・コーヒー」と命名したとのことです。



…編集後記…

いよいよ 2024 年の始まりです。2024 年度は「医療・介護・障害福祉」の診療報酬が同時に改定するので「トリプル改定」と呼ばれています。そして更にトリプル改定だけではなく、第8期医療計画のスタートや医師の働き方改革なども同時に行われる年にもあたります。時代の流れと共に、たくさんの事が新たに生まれ、ついて行くのに大変です。さて、いよいよ辰年のスタート！

「明るく、元気に、朗らかに！」のトリプルモットーで頑張ります。

（法人本部：中辻 千恵）